

医動物・種類同定検査結果（令和6年4月～6月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類等の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和6年4月から6月の3か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類以外の節足動物1件(クモ目)でした。

詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
ベランダに保管している自転車(ロードバイク)のチェーンを点検していたところ、見慣れないクモを発見した。 〈4月〉	<div style="text-align: right;">背面</div>  <div style="text-align: right;">腹面</div>  <p>雌成虫、灰褐色、腹面に砂時計型の赤い斑紋あり 約7.5mm</p>	ハイイロゴケグモ (クモ目)	基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。 体は褐色、灰色または黒色で個体差がある。腹部背面の正中線上に斑紋がある。腹面にゴケグモ類特有の赤い斑紋(砂時計型)がみられる。全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】